



板一中 小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）



板二小ホームページ QR

板二だより

学校情報化優良校・ユネスコスクール認定校
板橋 i カリキュラム活用実践校（読み解く力）
小学校教科担任制等推進モデル校

令和6年4月30日
板橋区立板橋第二小学校
校長
令和6年度5月号

いろいろな人々との関わりを通して 副校長

令和6年度第1回土曜授業プラン（4/20）への多くの方々の御参観ありがとうございました。教室の中へは一度には入りきれないほどの人数に保護者の方々の関心の高さに身の引き締まる思いでした。また、その後の避難訓練（引き渡し訓練）にも御協力いただきスムーズに行えましたことに御礼申し上げます。国内でも最近大きな地震が起きています。今後も万が一の場合に備えて訓練を行い対応できるようにしていきます。新年度が始まり一ヶ月が過ぎました。保護者の方々の見送り、地域の方々の見守りもあり児童は安全に登下校をしています。子供たちは、地域の方々や保護者の方々に支えてもらい生活していることを感じています。そこで、子供たちはどんな人々と関わりをもって日々生活しているのかを改めて考えてみました。

学校での関わり 令和5年度からたてわり活動（異学年がグループを組んで行う活動）が定期的に行えるようになりました。一人一人の活動の場、他学年との交流の場が増え、場に応じたふるまいを意識することが多くなりました。また、6年生は1年生が学校生活に慣れるようにお手伝いをしたり、上の学年が下の学年に学習・各行事の支援を行ったりしています。昨年度末には、2年生が「かけ算九九」を唱えるのを3年生が聞いてあげるといった交流活動も行いました。このような機会が互いに学べる場となっています。

地域の方々との関わり 地域の方々との関わりの方では、1年生の下校時の付き添いや2年生の昔遊びの講師、秋のクリーン作戦等で大変お世話になっています。

また、土日等のお休みの日に各町会主催で開かれるお祭りや催しに子供たちが参加し、地域の方々と接する機会があります。このことに関しては先日、町会の方にお話を聞くことがあった時、次のようなことをおっしゃっていました。「〇〇町会が主催しているお祭りだけでも〇〇町会でない人も来て楽しんでもらっています。」この言葉を聞いて、板二小の地域で生活し地域の方々、いろいろな世代の方々と顔見知りになることが安心・安全な生活をするにつながっているのではと思いました。日々の生活を充実させるためにも今後も地域との結びつきを大切にしていきたいです。

在校生等の保護者の方々との関わり 本校では、親二会（保護者の有志）の皆さんが「いきいき寺子屋クラブ」を企画・運営してくださっています。「いきいき寺子屋クラブ」では、土日に子供たちの遊び場を提供し、ドッジボール、バドミントン、ポッチャ等のスポーツや運動からゲーム等のイベントを行っています。夏にはプールでカヌー体験も行っています。

以上のように子供たちは同年代の友達だけでなく、こうした板二小に関係する様々な人々と関わることを通して、在校時も卒業後も充実した日々を過ごしてほしいものです。